

## 【ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチンの受け方について】

ヒブワクチンと小児用肺炎球菌ワクチンは、生後2か月から接種できる予防接種です。

生後2か月～6か月の間に接種し始めた場合、標準的な打ち方で4回接種できますが、色々な理由で接種間隔が延びた場合や、接種を始めた月齢が遅かった場合、接種できる回数が減ってしまいます。

お子さんの体調を整えながら、なるべく多くの回数で接種を受けるようにしましょう。

### (ヒブワクチン)



3回目までの接種を1歳未満に行うこと



2回目までの接種を1歳未満に行うこと



### (小児用肺炎球菌ワクチン)

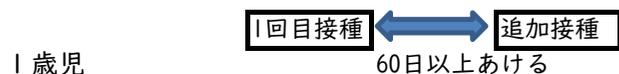


2回目までの接種を1歳未満、3回目までの接種を2歳未満に行うこと

※ただし2回目の接種が1歳を越えた場合、または3回目の接種が2歳を越えそうな場合、3回目は行わず、60日後に追加接種を行う



2回目までの接種を2歳未満に行うこと



### 【注意！】

ヒブワクチンは、生後2～6か月児で3回、生後7～11か月児で2回の初回接種を完了せずに1歳になった時は、規定の回数が省略されて、残りが追加接種のみになり、初回接種終了後27日以上（医師が必要と認めた場合は20日）の間隔をおいて1回接種します。

### 【注意！】

肺炎球菌ワクチンは、生後2～6か月児及び生後7～11か月児で所定の回数の初回接種を完了せずに2歳になった時は、規定の回数が省略されて、残りが追加接種のみになります。

受け方について、ご不明な点はお問い合わせください。  
霧島市役所 健康増進課 64-0905 (内線2161・2162)